



大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】
「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」



令和4年4月28日
第2号
校長 柴田美由紀

新年度がスタートして早一か月、新緑の香りが清々しい季節になりました。来週から始まる5月は、いよいよ学校生活を充実させていく時期になります。気分を引き締めて学校生活を送りましょう。

生徒会も生徒総会が4月21日にタブレットを活用して行われ、生徒会活動が本格的にスタートしました。昨年度の総括、本年度の生徒会スローガン、専門委員会のスローガン・活動内容等が審議され、決定されました。

生徒総会 タブレットを活用して開催 「信頼 ～素直な心で語り合える交流を～」



生徒総会の様子

生徒会活動は、拡大執行部だけの活動ではありません。皆さん一人一人の応援なしには進みません。皆さんの生徒会活動に対する理解と協力が、活動を活発にさせます。

そして、その生徒会活動は、今さら言うまでもなく、皆さんの学校生活をよりよく充実したものにするための活動です。さらに言えば、生徒会活動の基本は、毎日生活している学級での活動です。話し合いのできる学級、少数意見を尊重する学級、決まったことをみんなで実行する学級が生徒会の基本です。そして、**活力ある生徒会活動を展開している学校は魅力ある学校です。**今、私たちの大原中学校は、生徒が生き生きと活動し、大変落ち着いた中学校といっていただいています。このことは、みなさんと共に喜ぶべきことです。現在の私たちの学校のこのような姿は、議案書にある「大原中人権宣言」に見られるような**長い間の先輩方の努力の蓄積の結果**であると私は思います。生徒会活動も、長年にわたり大原中の実態を冷静に分析し、更なる向上を目指して活動案が検討されてきました。その努力の蓄積の上にあるのが、今年の生徒会スローガン、「**信頼～素直な心で交流を～**」です。

まずは、一人ひとりが素直な心を持って語り合い、交流できる雰囲気をつくり、仲間を信じて、何事にも一生懸命に取り組むことによって、活気のある学校をつくりあげようというものです。ぜひ、委員会の活動で、あるいは様々な行事を通して実現してほしいと願っています。各委員会の活動は日々の地道な常時活動と共に、目標達成のための活動がどの委員会もとても具体的でたくさんの工夫があることに感心しました。

さて、「**生徒会は、民主主義を学ぶ小さな学校である**」と言われます。つまり、生徒の生徒による・生徒のための自治活動なのです。ですから、

皆さん一人一人の意識の高まりが、すばらしい生徒会を生み、すばらしい学校文化を創造します。学校生活をよりよく充実したものにするために、全校生徒310人で力を合わせていきましょう。

部活動編制 4月19日に部活動編制がありました。部活動は、次の①～③が大きなねらいです。

- ① 心と体をバランスよく発達させ自分のよさを発揮し、伸ばす。
- ② 自分の趣味や特技を生かす。
- ③ 集団の中で友達をたくさんつくり、自分の役割を果たす。

部活動を通じ、目標を持って活動をし、先輩や友達と協力しながら人間関係を豊かにして、たくましい体力、気力、忍耐力をつけてほしいと願っています。1年生の皆さんは、3年間がんばり続けられる部活をじっくり考えて決めましょう。

「**人生の尊さは、自分の仕事に打ち込んだ汗の量で決まる**」と言います。これを皆さんに置き換えると「**中学時代の充実度は、勉強や部活で流した汗の量で決まる**」とも言えましょう。学校は頭と心と体で、精一杯汗をかくところです。

みなさんが、自分で好きで選んだ部活で、少々の困難にくじけずがんばって、自分を精一杯輝かせてくれることを期待します。1年生の皆さんは、先生や先輩の教えをよく聞き、先輩のプレーや動きをよく観察して、早く部活動に慣れましょう。チーム、自分の目標を確認し、心と技を磨きながら、日々、「成長している自分」を実感できる部活動に取り組んでいきましょう。



部活動紹介の様子

部活動の確認事項

- (1) 早朝練習の開始時刻は7時15分以降とします。
- (2) 下校時刻については、日没時刻30分前を原則とします。
- (3) 市内の他の中学校と同様に、定期考査3日前から定期考査終了日の朝練までの期間を原則として部活動休止とします。

ご多用な中に授業参観、PTA総会に多数お越しいただきまして どうもありがとうございました。

本年度も2回の土曜授業を行います

大原中学校 本年度の土曜授業予定

- ① 6月11日(土) ラブ・アースクーンアップ大原
- ② 11月12日(土) リバティブェスタ

土曜授業の意義・わりい

- 学校・家庭・地域が連携、協力して教育(共育)を推進することで、子どもたちに「生きる力」を育てます。
- 学校が生徒の実態、保護者や地域の実情を踏まえて、学校教育目標に即して特色ある学校づくりを進めます。
- 学校運営上で、柔軟で効果的な運用ができます。